



2010年 1月 6日

日本板硝子株式会社

China Glass Holdings 社との株式交換と中国におけるソーラービジネス強化について

日本板硝子株式会社(東京本社:東京都港区三田三丁目5番27号、社長:藤本勝司、資本金:961億円)は、株式交換により、Taicang Pilkington China Glass Special Glass Limited 社(太倉中玻皮爾金頓特種玻璃有限公司 = TPCGSG 社)の株式を100%取得することについて、中国 China Glass Holdings 社(CGH 社)と合意しましたのでお知らせいたします。NSG グループは CGH 社が保有する TPCGSG 社の株式を取得し、代わりに、NSG グループが保有する JV Investments Limited 社(JVI 社)の株式 40.14%の一部を CGH 社に譲渡します。

CGH 社は、香港証券取引所上場企業であり、NSG グループはその 29.9%の株式を保有しています。また、NSG グループは CGH 社との間に2つの合弁事業を有しています。その1つが、中国江蘇省太倉にある 50:50 の合弁事業 TPCGSG 社で、低鉄型板ガラスの製造販売をしています。このガラスは、結晶シリコン型太陽光発電モジュールのカバーガラスとして使用されます。もう1社が JVI 社で、こちらは CGH 社及び、Hony Capital 社が運営する投資ファンドと、NSG グループとの3社合弁事業です。JVI 社は中国で多数のフロートラインを保有しており、NSG グループはその株式を現時点で 40.14%保有しています。JVI 社の経営は、CGH 社と Hony Capital 社が行っています。

NSG グループは、CGH 社が保有する TPCGSG 社の株式 50%を取得します。代わりに、NSG グループは、JVI 社の発行済み株式の 14.68%を CGH 社に譲渡します。この結果、取引完了時には、NSG グループは TPCGSG 社の株式 100%及び JVI 社の株式 25.46%を保有することになります。この株式交換の完了には CGH 社の他の株主の合意が必要です。

NSG グループでは、太倉の型板ガラスラインが NSG グループのソーラー事業の一部として運営されており、付加価値製品の生産に注力していることから、TPCGSG 社の 100%化が最善の策と考え株式交換を決定いたしました。一方で、JVI 社は、主に中国での汎用フロートガラス製品の製造販売に注力しており、また経営は CGH 社が行っています。NSG グループは、両合弁事業とも将来の成功に確信をもちますが、この株式交換は、ソーラー事業の更なる発展を目指す当社グループの戦略目標に適ったものです。

以 上

【お問い合わせ先】 日本板硝子株式会社 広報・IR部 電話 03 - 5443 - 9477

日本板硝子株式会社 広報・IR部

〒108-6321 東京都港区三田 3-5-27

電話 : 03-5443-9477 FAX : 03-5443-9543